



住北通信

第19号 発行日 R2.12.25

発行者 校長 松下 佳司

大東市立住道北小学校

TEL 872-7788 FAX 872-7789

2学期 終業式を迎えて

8月20日から始まった長い2学期が終わり、明日からは12日間の冬休みに入ります。保護者・地域の皆様には、この2学期間、本校の教育活動はもとより日々の感染症対策にもご理解とご協力を賜り、また、雨の日も風の日も、そして、寒い日も毎朝の登校指導にご協力をいただき本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、2学期の**終業式**では、まず、師走恒例の「**今年の漢字**」に選ばれた「**密**」についてお話をしました。日本をはじめ、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年。“**3「密**”という言葉が提唱され、生活・行動様式が「密」にならないよう、国民が意識し続けたことから「密」を選ぶ人が多かったのでしょうか。また、大切な人との関係が「密」接になり、人との繋がりの大切さを再認識する機会になったという理由もあり、学校でも「**身体の距離は遠ざけても、心の距離は近づけよう**」と、子どもたちには、繋がることの大切さを説いてきたのも事実です。

そこで、**魚類学者**でもあり、**タレント**でもある「**さかなクン**」のエピソードを紹介し、**心の距離のあり方**について考えました。そのエピソードとは、さかなクンが中学生の時のこと。同じ**部活動**の友だちが、周りの生徒に無視され、誰も口をきいてくれなくなったことがあったそうです。そのとき、さかなクンは、無視している周りの生徒を止めたり、無視されている友だちを励ましてあげたりすることができなかつたそうです。

ただ、さかなクンが、友だちのために1つだけしてあげたことがあったそうです。

それは、友だちを誘って海に魚釣りに行くことでした。友だちと一緒に、ただ魚釣りをしたのですが、その友だちの顔が**ほっと**した表情になっているのがわかったそうです。

何かに悩んでいるような、何だか元気のない友だちを見たとき、自分はどんなことをしてあげているのか、改めて、子どもたちに問い直しました。そんなとき、何もしない、何もできないというのは、悲しいことですが、さかなクンのように、ただその子の隣にいてあげるだけでもいいのではないかと話しました。

何もできなくても、悩んでいる友だちやいじめにあっている友だちの心を思いやり、そばにいてあげる。そういうことも、**いじめ**から友だちを守るためにできることの一つだと伝えました。

冬休み中は、健康に安全に過ごされるとともに、幸多き新年をご家族でお迎えください。

新型コロナウイルス感染拡大への対応について

新型コロナウイルス感染拡大への対応については、すでに学校ホームページを通じてお伝えしたところですが、文部科学省が示す「**新しい生活様式**」を踏まえた学校の行動基準における、地域の感染レベルは、**12月7日(月)**より「**レベル1**」から「**レベル2**」へと移行されております。

今回の決定を踏まえ、学校の教育活動等については、より感染症対策を徹底させながら、下記のとおり対応するよう、市教委より指示がありましたので、改めて掲載いたします。

教育活動等について

○分散登校・短縮授業は行わず、1教室40人の通常形態で、教育活動を継続する。

○感染症対策を徹底するとともに、特定の教育活動は制限する。

- ・感染リスクの高い教科活動（長時間、密集又は近距離で対面形式となる活動等）は行わない。
- ・スキー学習等府県間の移動を伴う教育活動については、移動先の都道府県が大阪からの受け入れを拒否している場合、「レベル2」の間においては実施しないこととする。

(裏面へ)

なお、本校としての**スキー学習**の実施の可否については、「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準が「レベル1」であることを1つの判断基準としておりましたが、上記の指示に基づき、「**レベル2**」であっても、移動先である鳥取県に大阪からの受け入れを拒否されない限りは、実施することと変更いたしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

一方、3学期に実施する予定でありました**朝のマラソンとマラソン大会**については、企画・立案も済ませておりましたが、残念ながら**中止**とさせていただきます。

朝のマラソンについては、1・6年生、2・4年生、3・5年生と、2学年で内と外のコースに分かれて走るように人数を縮減し、マラソン大会については、1組男子→2組男子、1組女子→2組女子と時間差を設けてスタートさせるなど、極力、「密」を避ける工夫を考えておりました。

しかし、**大阪モデルが「レッドステージ」**へと引き上げられ、**感染拡大局面**にあるなか、校内で一斉に学年集団が移動する取組みを極力控えたく、また、リスクの高い運動であり、その改善策として、ランニング時に身体的な距離を確保することの徹底は子どもには難しく、中止の判断に至りました。

また、地区を2分割しての**学習参観**の実施も検討しましたが、市内小・中学校における感染状況を鑑み、今年度は見送らせていただきます。何卒、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後に、**3月22日（月）**に予定しております**卒業式**の実施内容等については、市教委や他校との調整等もあることから、お伝えできることがまとまり次第、お知らせいたします。

校内図工作品展

保護者の皆様、お忙しい中、また寒い中、**期末懇談**へのご出席、本当にありがとうございました。同時に開催させていただきました**校内図工作品展**に向けて、子どもたちは、根気強く作品づくりに取り組みました。発達段階に応じたテーマ・題材で、素材の特性を活かしたり、空想の世界を広げたりしながら、自らの発想を生かし、どの作品にも工夫したところ、苦勞したところ、こだわったところなど、たくさんの頑張りが見られました。

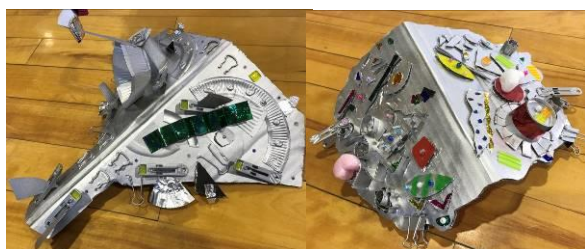
図工教育の一端も披露することができ、2学期のよい締めくくりができました。



1年生「ひかりのくにのなかまたち」



2年生「まほうの鳥」



3年生「あなたが糖としたのは金の板面、銀の板面」



4年生「どうぶつキング」



5年生「針金チオブジェ」



6年生「隠い出のランドセル」